

1	・	障害評価の社会構造——無作為郵送調査で評価された障害の社会的重度性と障害分類	・
	・		・
	・	榊原賢二郎	・
	・		・
5	・	sakakibara_kenjiro@yahoo.co.jp	・
	・		・
	・	2019年9月7日 障害学会口頭報告	・
	・		・
	・		・
10	・		・
	・	◆スライド 1/21 本報告の目的と位置付け	・
	・		・
	・	社会的排除・不利益としての障害[1][2][3]	・
	・		・
15	・	ー障害という排除の統計的説明が課題に	・
	・		・
	・	…まずは障害種別に着目	・
	・		・
	・		・
20	・		・
	・	1. 客観的方法…不利の実態	・
	・		・
	・	2. 主観的方法…人々の不利の認識	・
	・		・
25	・		・
	・		・
	・	2017年に後者の予備調査結果を報告	・
	・		・
	・	ー今回は無作為抽出に基づく本調査	・
30	・		・
	・		・
	・		・
	・		・
	・		・
35	・		・
	・		・
	・		・
	・		・
	・	◆スライド 2/21 疾患威信(disease prestige)[4]	・
40	・		・
	・	38種類の疾患・損傷の「威信」を、専門家(医療以外を含む)が1-9で回答	・
	・		・
	・	心筋梗塞(平均7.6)～肝硬変(3.3)	・
	・		・
45	・	(非検証可能・自己責任論で低く)	・
	・		・
	・		・
	・		・
	・	本報告の相違点	・
50	・		・
	・	1.非専門家を含む障害評価の社会構造	・

・	→各種障害を日常用語で表す必要	・
・		・
55	2. 不利の軽重に絞った質問	・
・		・
・		・
・		・
・		・
60		・
・	◆スライド 3/21 障害種別ごとの社会的距離[5]	・
・		・
・	一般の人々が各種障害者との間に感じる社会的距離を回答	・
・		・
65	糖尿病(0.79)～薬物依存(2.52)	・
・		・
・	評価者の属性が評価と関連 e.g. 学歴	・
・		・
・		・
70		・
・	社会的排除の側面を説明	・
・		・
・	←→差別禁止規範は距離感の表明を困難に	・
・		・
75	→一般論にしづらい	・
・		・
・	…私(たち)からの距離	・
・		・
・		・
80		・
・		・
・	◆スライド 4/21 中心となる質問	・
・		・
85	Q1	・
・		・
・	以下の表に並んでいるのは、心や体の状態です。この中には、仕事や学校生活、結婚や家事・育児などといった社会生活で不利になるものもあるよう	・
・	です。	・
・		・
90	以下の心や体の状態は、世間一般では、どの程度社会生活に不利になると思いますか。(後略)	・
・		・
・		・
・		・
95		・
・	◆スライド 5/21 Q1の詳細	・
・		・
・	1. 回答は6段階、1=まったく不利にならない、6=非常に不利になる	・
・		・
100	2. 最初に確認のため、「まったく不利にならない」に○をつけてもらう	・
・		・
・	…回答の逆転を防止。誤答は無効	・

・	3. 1から6の回答を0-100に変換	・
105	・	・
・	1→0,2→20,・・・,6→100	・
・		・
・	平均点…障害スコア、予期された社	・
・		・
110	会的排除の一指標	・
・		・
・		・
・		・
・		・
115	・	・
・	◆スライド 6/21 調査の概要	・
・		・
・	時期 2018年11月1日から26日	・
・		・
120	対象者 南関東1都3県在住の20歳以上79歳以下の男女	・
・		・
・	調査方法 郵送調査(実査は一般社団法人中央調査社に委託)	・
・		・
・	抽出方法 住民基本台帳からの層化2段無作為抽出	・
125	・	・
・		・
・		・
・		・
・		・
130	◆スライド 7/21 回収状況	・
・		・
・	標本数 1000	・
・		・
・	回収数 322(32.2%)	・
135	・	・
・	有効回答数 253(25.3%)	・
・		・
・	(無差別回答 5(0.05%))	・
・		・
140	・	・
・		・
・	有効回答の基準	・
・		・
・	1. すべての質問に回答 かつ	・
145	・	・
・	2. 確認用の質問に正しく回答	・
・		・
・		・
・		・
150	・	・
・		・
・	◆スライド 8から10/21 障害スコアと95%信頼区間	・
・		・
・	※エクセルファイルのシート1と同じ内容	・

	・	目が見えず、耳が聞こえない	94.3(91.8-96.9)	・
	・			・
160	・	目が見えない	90.1(87.4-92.8)	・
	・			・
	・	歩けない	83.2(80.1-86.3)	・
	・			・
	・	手が動かない	82.4(79.3-85.4)	・
165	・			・
	・	耳が聞こえない	81.8(79.0-84.6)	・
	・			・
	・	言葉を理解できない	80.7(77.5-83.9)	・
	・			・
170	・	言葉を話せない	76.2(73.1-79.3)	・
	・			・
	・	幻覚や妄想がある	72.3(68.8-75.7)	・
	・			・
	・	移動に車椅子を使う	70.9(67.9-73.9)	・
175	・			・
	・	文字は見えるが読めない	70.2(66.9-73.5)	・
	・			・
	・	新しいことを覚えられない	69.5(66.4-72.6)	・
	・			・
180	・	他人の気持ちが全く分からない	67.3(64.0-70.6)	・
	・			・
	・	色が見分けられない	66.6(63.4-69.7)	・
	・			・
	・	いつも体中が痛い	65.0(61.8-68.2)	・
185	・			・
	・	腰が痛く座ってられない	63.9(60.9-66.8)	・
	・			・
	・	片目が見えない	63.5(60.7-66.2)	・
	・			・
190	・	すぐカッとなる	62.8(59.6-65.9)	・
	・			・
	・	気分が沈み何もやる気がしない	61.7(58.7-64.6)	・
	・			・
	・	極度に疲れやすい	61.6(58.6-64.6)	・
195	・			・
	・	他人と会うのが怖い	60.2(57.3-63.2)	・
	・			・
	・	場の空気を読めない	60.0(57.0-63.0)	・
	・			・
200	・	味を感じない	59.4(56.2-62.5)	・
	・			・
	・	なめらかに話せず言葉を繰り返す	58.0(55.1-60.9)	・
	・			・
	・	においを感じない	57.3(54.4-60.3)	・
205	・			・
	・	じっとしてられない	56.8(53.6-60.1)	・
	・			・
	・	日中に眠くなる	51.7(48.7-54.7)	・

210 ・ 飲酒をやめられない 51.2(47.8-54.6) ・
 ・ ・
 ・ タバコをやめられない 48.1(44.8-51.5) ・
 ・ ・
 ・ とても太っている 44.0(40.8-47.3) ・
 215 ・ ・
 ・ 体が極めて小さい 39.3(36.1-42.5) ・
 ・ ・
 ・ 顔にあざがある 39.1(35.8-42.3) ・
 ・ ・
 220 ・ とてもやせている 33.4(30.4-36.4) ・
 ・ ・
 ・ 髪の毛がない 29.8(26.5-33.1) ・
 ・ ・
 ・ ・
 225 ・ ・
 ・ ・
 ・ ◆スライド 11/21 障害スコアの傾向 ・
 ・ ・
 230 ・ 予備調査と同様の傾向、相関0.977 ・
 ・ ・
 ・ (31種別、質問文・順位に若干の相違) ・
 ・ ・
 235 ・ ・
 ・ 1.「機能制限」を伴う身体障害が上位 ・
 ・ ・
 ・ …依然身体障害は不利という評価 ・
 ・ ・
 240 ・ 2. 精神障害関連は上位・中位と評価 ・
 ・ ・
 ・ 3. 身体の異形は軽度と評価 ・
 ・ ・
 ・ …人々の認識における周縁化とも ・
 245 ・ ・
 ・ ・
 ・ ・
 ・ ・
 250 ・ ◆スライド 12/21 評価者の属性の影響 ・
 ・ ・
 ・ 評価者の属性の影響が小さい方が、一般的な障害評価として信頼可能 ・
 ・ ・
 ・ (cf.「高学歴者・女性が受容的」[5]) ・
 255 ・ ・
 ・ ・
 ・ ・
 ・ 1. 種別ごとのスコアと全体の相関 ・
 ・ ・
 260 ・ …最低で0.938(収入関係、N=17) ・

・	2. 属性による回帰分析	・
・		・
・	…33個中31個のモデルが非有意	・
265	・	・
・		・
・	その他の点でも一定以上の信頼性	・
・		・
270	・	・
・		・
・	◆スライド 13/21 評価傾向の因子分析	・
275	・	・
・		・
・	評価に影響する要因を探る分析	・
・		・
280	例1 学力→テストの点数	・
・		・
・	例2 理系学力・文系学力→テストの点数	・
・		・
285	・	・
・	一障害種別を3つに大別可	・
・		・
・	(相関行列のスクリープロットから)	・
・		・
290	・	・
・		・
・	◆スライド 14から17/21 障害評価の因子負荷	・
295	・	・
・	※エクセルファイルのシート2と同じ内容	・
・		・
・		・
300	1. 第1因子の因子負荷が0.4以上のもの	・
・		・
・	耳が聞こえない 0.819	・
・		・
・	目が見えない 0.794	・
305	・	・
・	歩けない 0.783	・
・		・
・	目が見えず、耳が聞こえない 0.773	・
・		・
310	手が動かない 0.752	・
・		・
・	移動に車椅子を使う 0.750	・

	言葉を話せない	0.710
315		
	片目が見えない	0.667
	なめらかに話せず言葉を繰り返す	0.636
320	色が見分けられない	0.635
	言葉を理解できない	0.626
	においを感じない	0.571
325		
	新しいことを覚えられない	0.542
	飲酒をやめられない	0.536
330	味を感じない	0.514
	文字は見えるが読めない	0.446
335		
	2. 第2因子の因子負荷が0.4以上のもの	
	とてもやせている	0.757
340	場の空気を読めない	0.748
	幻覚や妄想がある	0.736
	他人の気持ちが全く分からない	0.734
345		
	すぐカッとなる	0.707
	気分が沈み何もやる気がしない	0.697
350	じっとしていられない	0.660
	日中に眠くなる	0.577
	文字は見えるが読めない	0.571
355		
	他人と会うのが怖い	0.567
	タバコをやめられない	0.544
360	言葉を理解できない	0.484
	新しいことを覚えられない	0.480
	極度に疲れやすい	0.467

	・	腰が痛く座ってられない 0.414	・
	・		・
	・		・
	・		・
370	・	3. 第3因子の因子負荷が0.4以上のもの	・
	・		・
	・	とても太っている 0.752	・
	・		・
	・	顔にあざがある 0.710	・
375	・		・
	・	髪の毛がない 0.705	・
	・		・
	・	体が極めて小さい 0.691	・
	・		・
380	・		・
	・		・
	・	※0.4未満の因子負荷量は省略	・
	・		・
	・	※バリマックス回転を使用	・
385	・		・
	・		・
	・		・
	・		・
	・		・
390	・	◆スライド 18から19/21 因子の解釈	・
	・		・
	・	三障害(身体・精神・知的)と相違	・
	・		・
	・		・
395	・		・
	・	第1因子…道具的損傷	・
	・		・
	・	多くの典型的な身体障害が関連	・
	・		・
400	・	←→言葉の理解や記憶、文字の理解など、通常身体障害とはされていない身体条件も	・
	・		・
	・	…活動の手段としての身体に関連	・
	・		・
	・		・
405	・		・
	・	第2因子…内在的損傷	・
	・		・
	・	精神・発達障害と大きく重なる	・
	・		・
410	・	←→その他の項目も	・
	・		・
	・	(疲労の一部、過度な痩身)	・
	・		・
	・	…身体のorderに関連	・

	・	第3因子…外在的損傷	・
	・		・
420	・	身体の外形に関わる	・
	・		・
	・		・
	・		・
	・		・
425	・		・
	・	◆スライド 20/21 調査結果の含意	・
	・		・
	・	1. 障害種別ごとの重度性への評価に	・
	・		・
430	・	差異	・
	・		・
	・	→排除の不均一性、マイノリティ集	・
	・		・
	・	団内の分断の存在	・
435	・		・
	・		・
	・	2. 異質な損傷観	・
	・		・
440	・	→障害研究の射程の再検討	・
	・		・
	・	cf.能力主義	・
	・		・
	・	+身体への異なる意味付与の解明	・
445	・		・
	・		・
	・		・
	・		・
450	・	◆スライド 21/21 文献	・
	・		・
	・	本研究はJSPS科研費18K12950の助成を受けたものです。	・
	・		・
455	・		・
	・	1 UPIAS and DA (1976), Fundamental Principles of Disability.	・
	・		・
	・	2 星加良司(2007)『障害とは何か』。	・
	・		・
460	・	3 榎原賢二郎(2016)『社会的包摂と身体』。	・
	・		・
	・	4 Grue, J. (2015), "Prestige Rankings of Chronic Diseases and Disabilities," Social Science & Medicine, 180-6.	・
	・		・
	・	5 Harasymiw, S.J. et al.(1978), "Age, Sex, and Education as Factors in Acceptance of Disability Groups," Rehabilitation Psychology, 25(4), 201-8.	・